

3 底魚資源変動調査

3- (1) 底魚漁獲統計調査

太田 武行

目的

沖合底びき網漁業の主要漁業対象魚種の資源の持続的利用と経営安定に資するため、地区別漁獲統計データから漁獲動向等を把握する。

方法

鳥取県の沖合底びき網漁船が所属する地区（賀露、網代、田後）の月別魚種別漁獲量・漁獲金額を集計し、漁獲の変動を把握した。

結果

①鳥取県全体の漁獲動向

鳥取県の沖合底びき網の漁獲量、金額、稼働隻数の年推移を図1に示した。2016年の本県沖合底びき網の漁獲量、金額は、6,656トン、46億5千万円であった。漁獲量は、2015年の6,835トンから179トン減少したものの、漁獲金額は2015年の45億4千万円から、1億1千万円増加した。1月から3月までの稼働隻数は賀露6隻、網代10隻、田後10隻の合計26隻であったが、4、12月に海難事故があり、12月末時点では、賀露6隻、網代10隻、田後8隻の24隻となり、前年から2隻減船した。

主要魚種別の漁獲量において、ハタハタが2,014トン（前年1,647トン）と前年から増加した。一方、アカガレイが1,231トン（前年1,322トン）、マダラが574トン（前年854トン）、ソウハチが571トン（前年589トン）と前年から減少した。

また、ズワイガニについては、松葉がに（脱皮後1年以上の雄のズワイガニ）は242トン（前年243トン）で前年並、若松葉がに（脱皮6カ月以内の雄のズワイガニ）は123トン（前年130トン）で前年を下回った。親がに（雌のズワイガニ）は569トン（前年560トン）で前年を上回った。

②各地区別の漁獲動向

2016年の鳥取県の沖合底びき網の地区別魚種別漁獲量、金額を図2に示し、各地区の概要を以下に記載した。

○賀露（前年から漁獲量2トン、漁獲金額6千万円増加）

漁獲量は1,901トンで、その内訳はハタハタ34%、アカガレイ18%、ソウハチ12%及びズワイガニ9%で、この4魚種が漁獲の7割を占めていた。また、

漁獲金額は11.4億円で、そのうちズワイガニが43%を占め、以下アカガレイ16%、ハタハタ10%、ソウハチ9%となった。

○網代（前年から漁獲量8トン、漁獲金額1億2千万円増加）

漁獲量は2,000トンで、アカガレイ33%、ハタハタ31%、ズワイガニ17%で、この3魚種が漁獲の8割を占めていた。また、総漁獲金額は17.0億円で、そのうち47%はズワイガニで以下、アカガレイ27%、ハタハタ10%となっており、他の2地区に比べ、漁獲量、金額ともにアカガレイの割合が高かった。

○田後（前年から漁獲量144トン、漁獲金額5千万円減少）

漁獲量は2,755トンでその内訳はハタハタ27%、ズワイガニ15%、マダラ14%、ソウハチ10%、アカガレイ9%で、この6魚種が漁獲の7割を占めていた。他の3地区に比べ、マダラの割合が高く、多様な魚種を対象に操業していることが分かった。

また、総漁獲金額は18.1億円で、ズワイガニの割合が50%を占め、他の2地区以上に高い割合を占めていた。

なお、漁獲量、金額の減少は、4、12月の海難事故により2隻が減船したことが影響している。

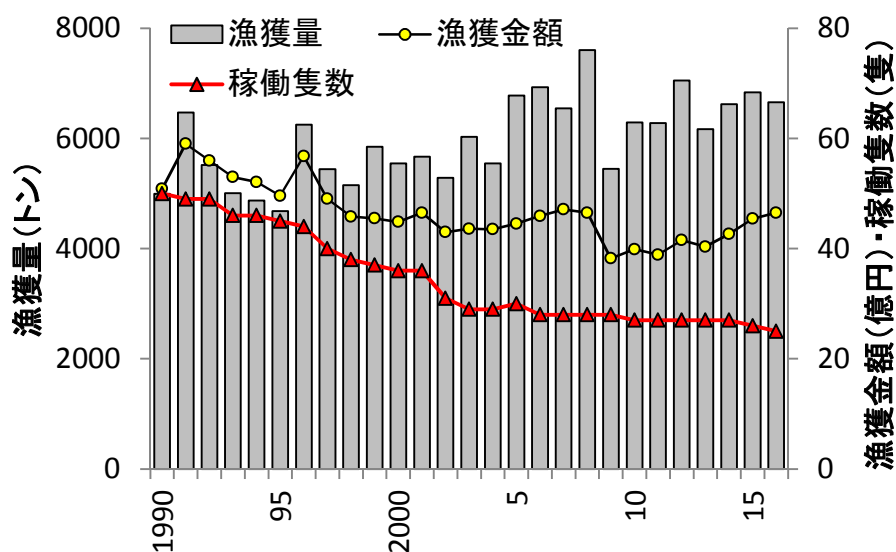


図1 鳥取県の沖合底びき網の漁獲量，金額，稼働隻数の年推移（暦年）

表1 鳥取県の沖合底びき網の主要魚種の水揚量（暦年）

（単位：トン）

	ハタハタ	アカガレイ	ソウハチ	マダラ	松葉がに	若松葉がに	親がに	その他	総計
2011年	859	1,487	840	515	247	175	614	1,540	6,277
2012年	1,614	1,611	526	552	316	197	642	1,592	7,051
2013年	1,310	1,287	677	401	328	173	559	1,435	6,171
2014年	1,286	1,693	704	530	277	142	557	1,432	6,622
2015年	1,647	1,322	589	854	243	130	560	1,488	6,835
2016年	2,014	1,231	571	574	242	123	569	1,163	6,656
平年	1,343	1,480	667	571	282	164	587	1,497	6,591
前年比%	122	93	97	67	99	94	102	78	97
平年比%	150	83	85	101	86	75	97	78	101

※平年は2011～2015年平均

※松葉がに：脱皮後1年以上の雄のズワイガニ、若松葉がに：脱皮6カ月以内の雄のズワイガニ、親がに：雌のズワイガニ

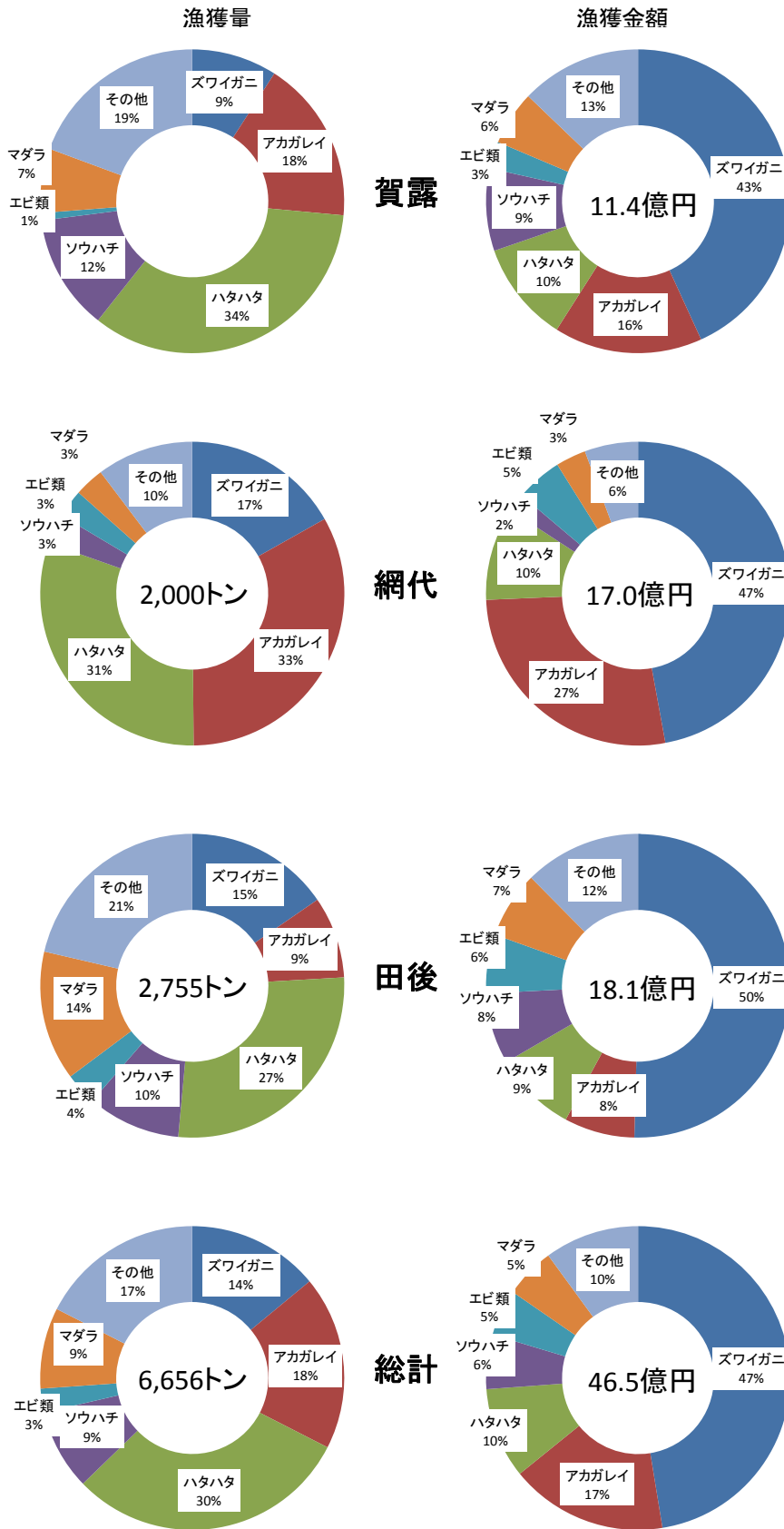


図2 鳥取県の沖合底びき網の地区別魚種別漁獲量, 金額 (2016年)

